



石舎源氏二十六



^ 13
3742
26



東邦本國古道校撰

佛社芳州集全三冊

佛社鼓蒙集全三冊

佛社全四歌仙全一冊

東邦本國古道校撰

佛社今人附合集全四冊

佛社今人叢句集全二冊 末角年早春出版

書肆

江戸通油町

仙鶴堂 鶴屋森吉画の藏

田舎源氏

上冊

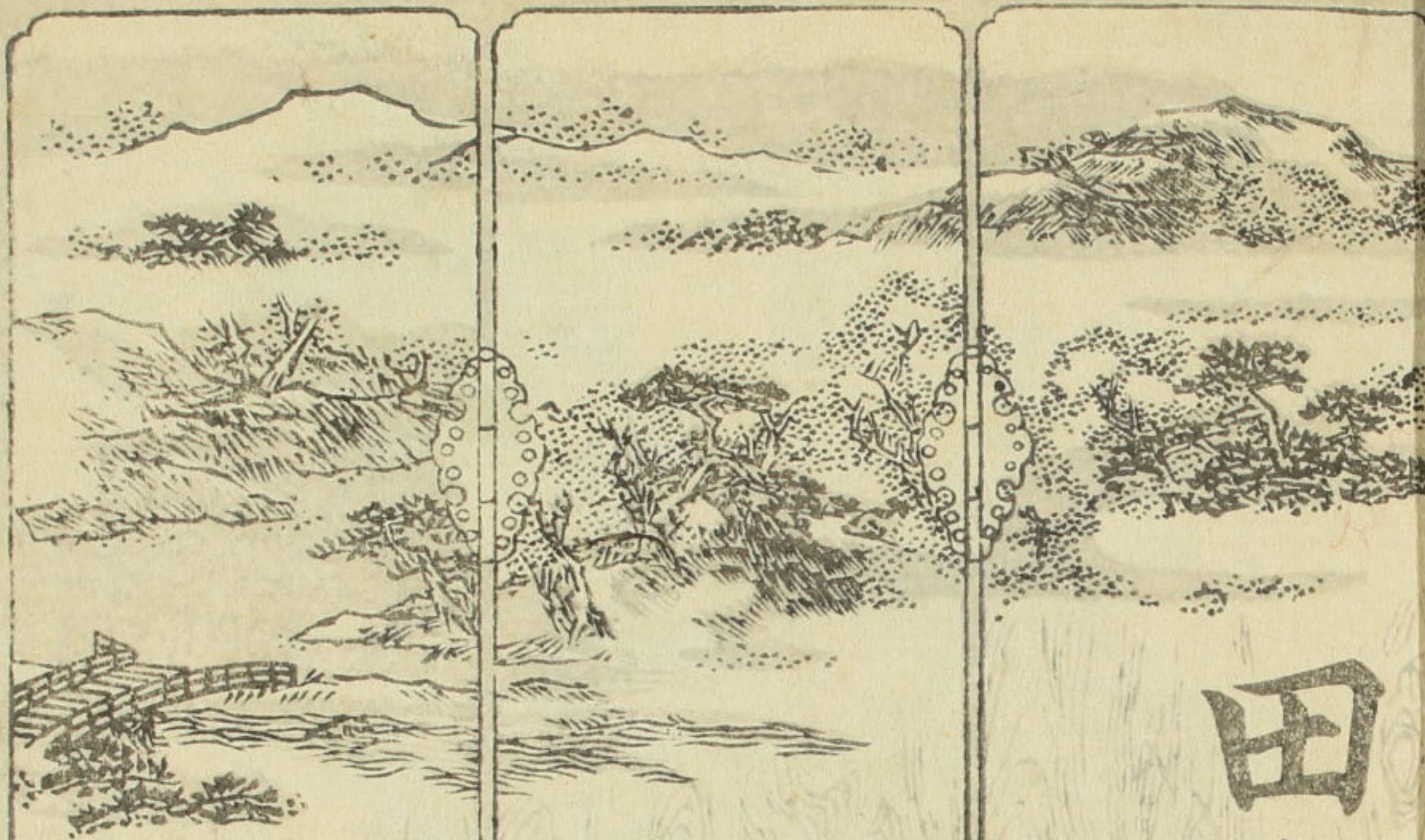
第九六編

柳亭種彦作

歌川國貞画

通油町

仙鶴堂壽梓



関八州の古道校撰... 佛社今人附合集全四冊... 九五保... 江戸通油町... 仙鶴堂... 鶴屋森吉画の藏

九六編下



大
花
盆

大花盆



大花盆

大花盆

大花盆

門 13
 號 3742
 卷 26



倭蒙田舎源氏

種彦作
 國貞画

第廿六編 下冊

法西板

山崎
 似
 ひ
 か
 ら
 る

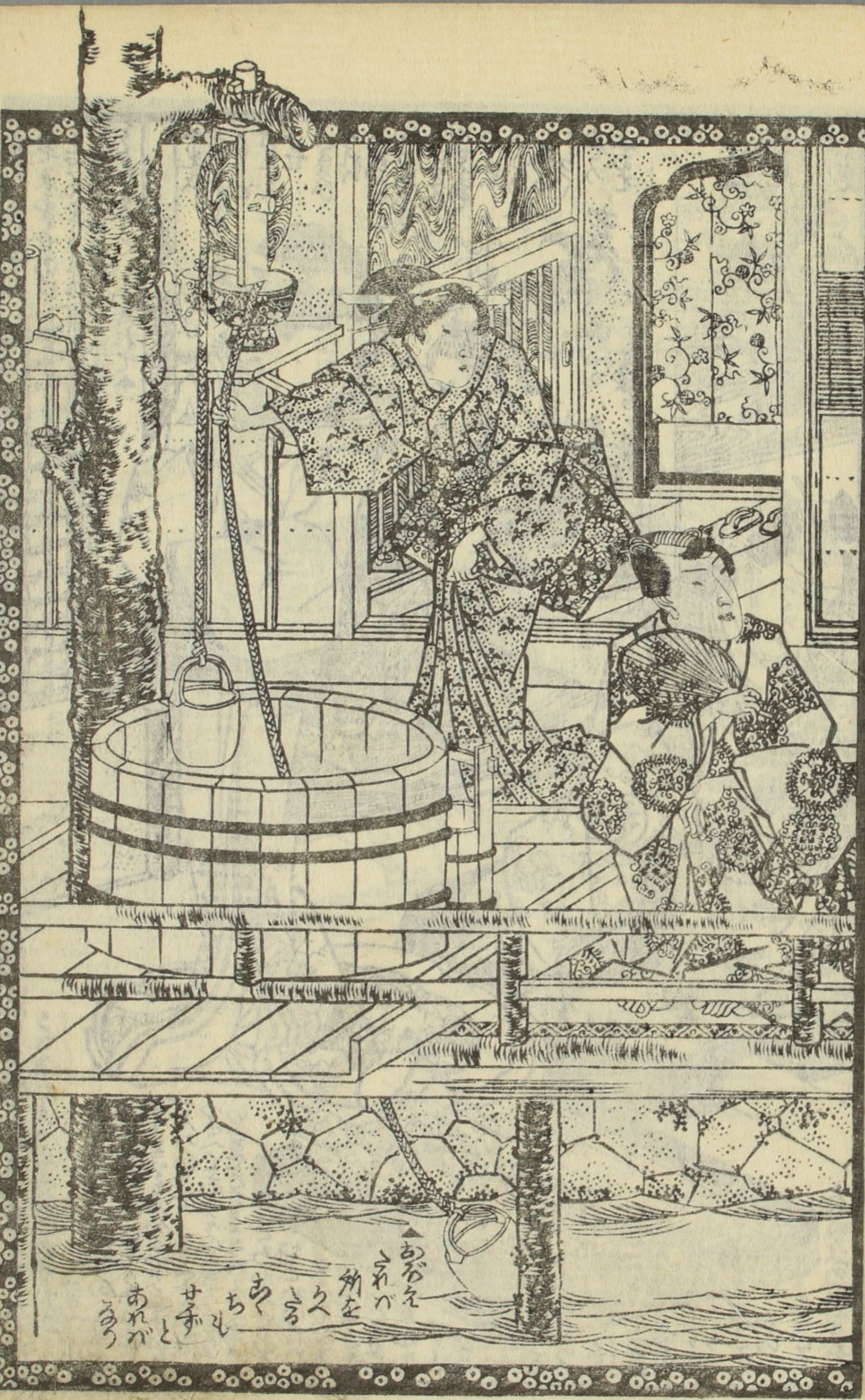
小波沼を修不仕立仙基平と羽織よまる古裁の記録で親法入
 りぬとす祖師一代記で軍書後入をさる二階からあかふ出中二階
 加藤平正類人奇と好めを造化も又それひられそ已がる我
 忘れぬ貴類河骨の園生刻の水は完さそ不思後と
 取之なる系類女の夏巻者文金持田の陰子の振袖最長とく
 會草紙よるをと終る後溜瀉本と和文直く表裏され彼沼の
 袴の類も襪の筋も信通り去年今年と古く程さくさく自も
 倦れちと強と書と見ると又平海の羽織也和りまゆもを畢亮が蛙より
 力をきぬと秋泳の古似やこのが不覺あれど春の後使あふり
 音も止がら時雨の須撥木不彫りて私とひろす也

天保九年戊戌孟春

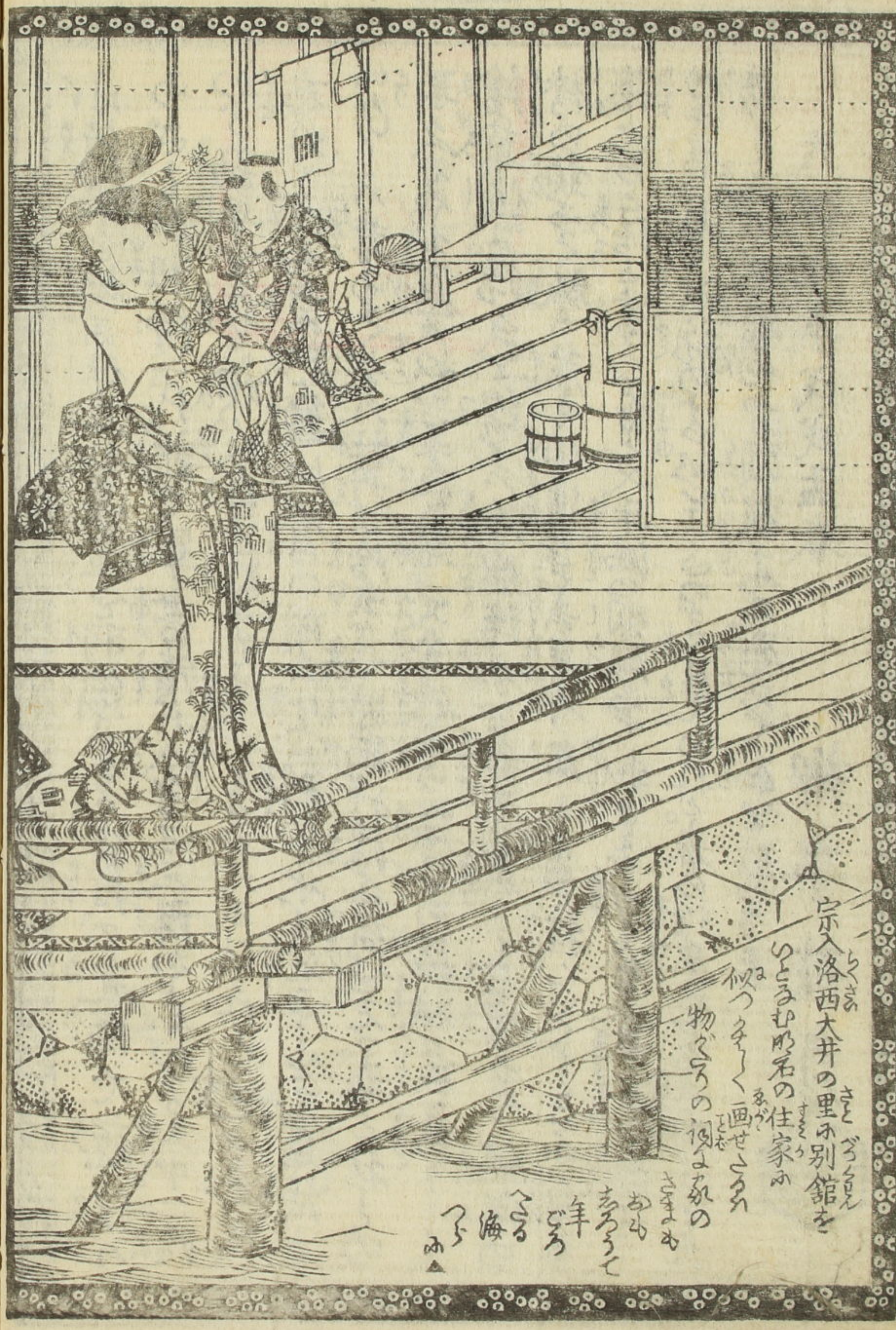
柳亭種彦



東大七六編



あはれ
甘茶
あや
久
所
あはれ
あはれ



宗入洛西大井の里の別館を
いとむね名の住家
似つそく画せころ
物さるの復は家の
あはれ
あはれ
あはれ
あはれ



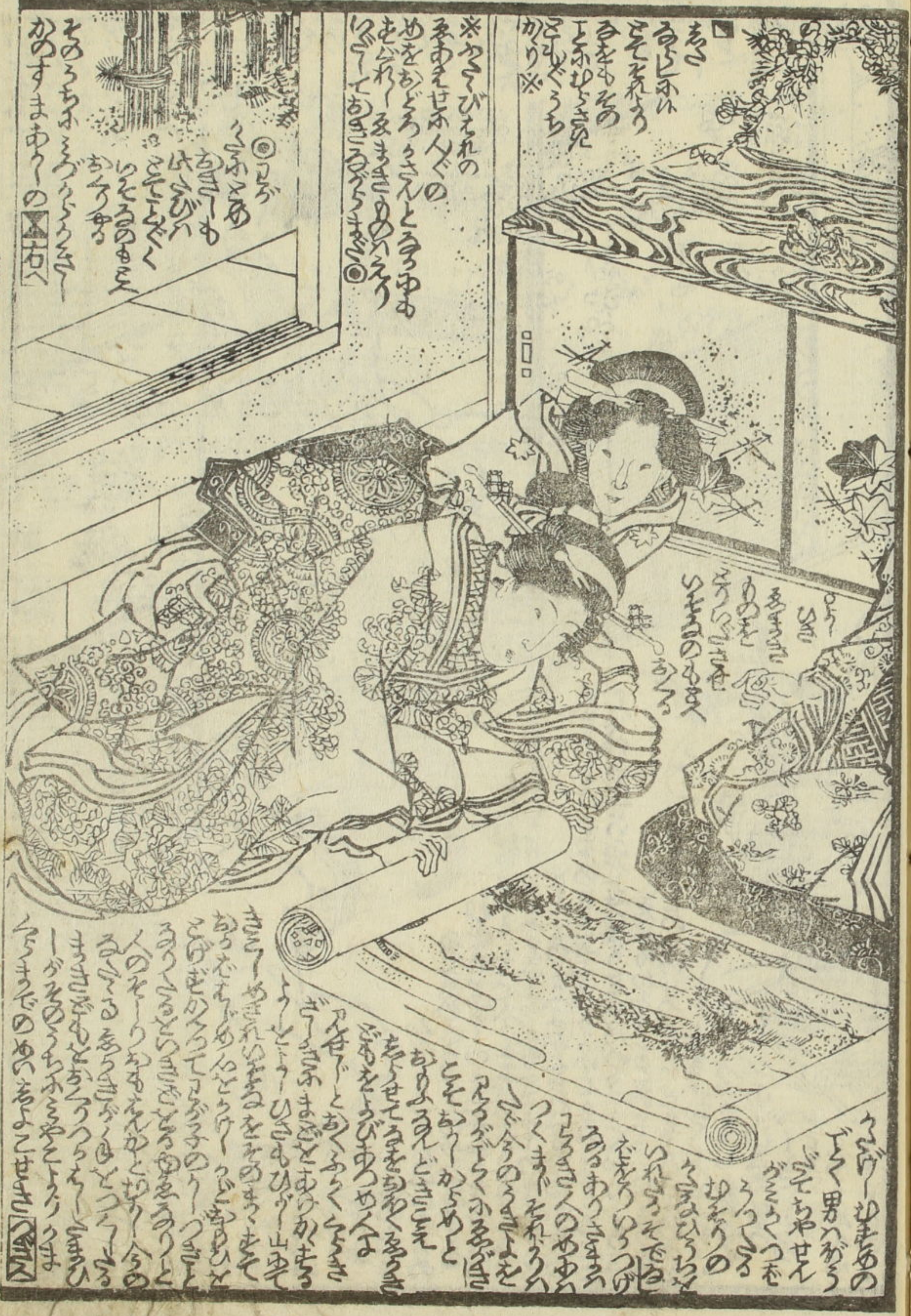
女物のついでに
 由てあそびせむし
 正にゆきよりの
 公のまゝにゆき
 りてまゝにゆき
 せむしゆき
 せむしゆき

▲光氏
 光氏か
 まるあせ
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき

△左方ひとまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき
 まきまき

まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの

まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの
 まきまきの

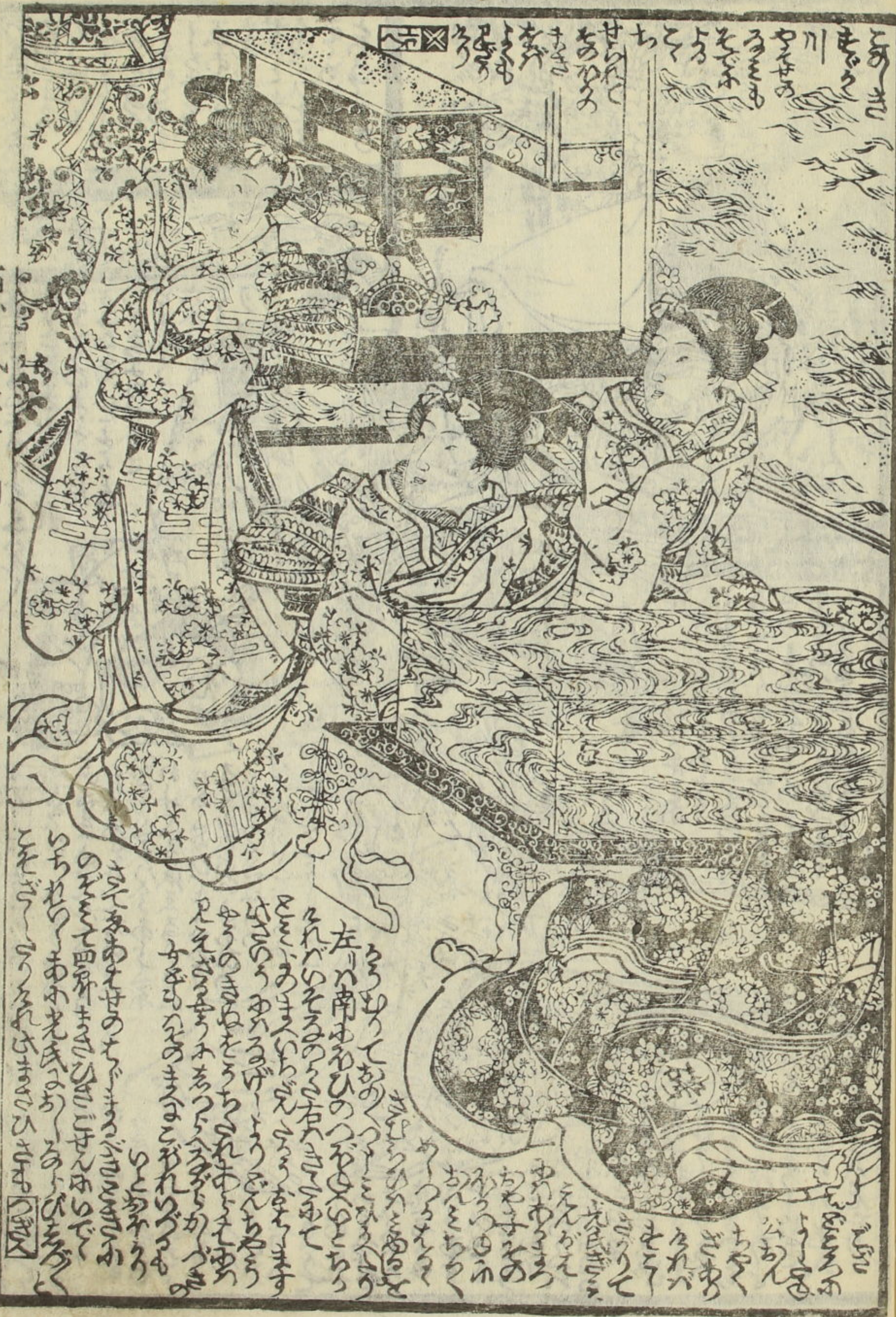


▲光氏
 光氏か
 まるあせ
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき

▲光氏
 光氏か
 まるあせ
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき

▲光氏
 光氏か
 まるあせ
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき
 せむしゆき

源氏廿六編



源氏物語
 第廿六編
 源氏物語
 第廿六編
 源氏物語
 第廿六編

源氏物語の一場面を描いた挿絵。中央に座す女性は、左側に立つ女性と対話している。右側にはもう一人の女性が立っている。背景には障子や床の間の構造が描かれ、全体的に繊細な線画と装飾が施されている。

5



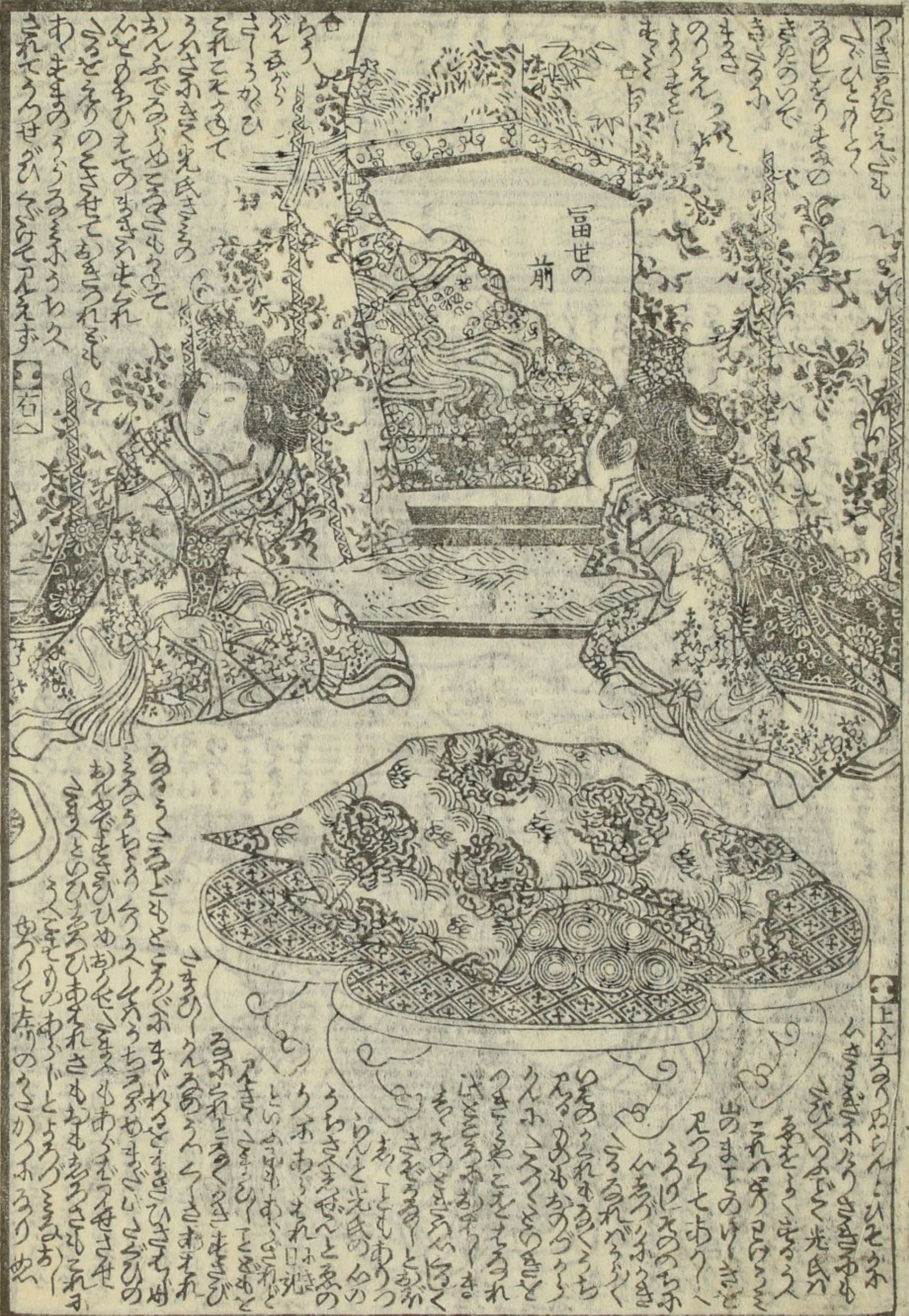
源氏物語
 第廿六編
 源氏物語
 第廿六編
 源氏物語
 第廿六編

源氏物語の一場面を描いた挿絵。右側に座す女性は、左側に立つ女性と対話している。背景には障子や床の間の構造が描かれ、全体的に繊細な線画と装飾が施されている。



源氏廿六編

一



源氏廿六編

五



Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper left and top center of the page. The text appears to be a commentary or a poem related to the scene.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle left and middle right of the page, surrounding the central figure.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom of the page, below the veranda structure.



Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the upper right and top center of the page, above the standing woman.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located in the middle right of the page, between the two women.

Handwritten Japanese text in vertical columns, located at the bottom of the page, below the seated woman.



はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの

はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの



はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの

はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの
はるのやうなものを
あはれつゝ
わが宮の
おのけの



Handwritten text at the top of the right page, likely a title or introductory notes.

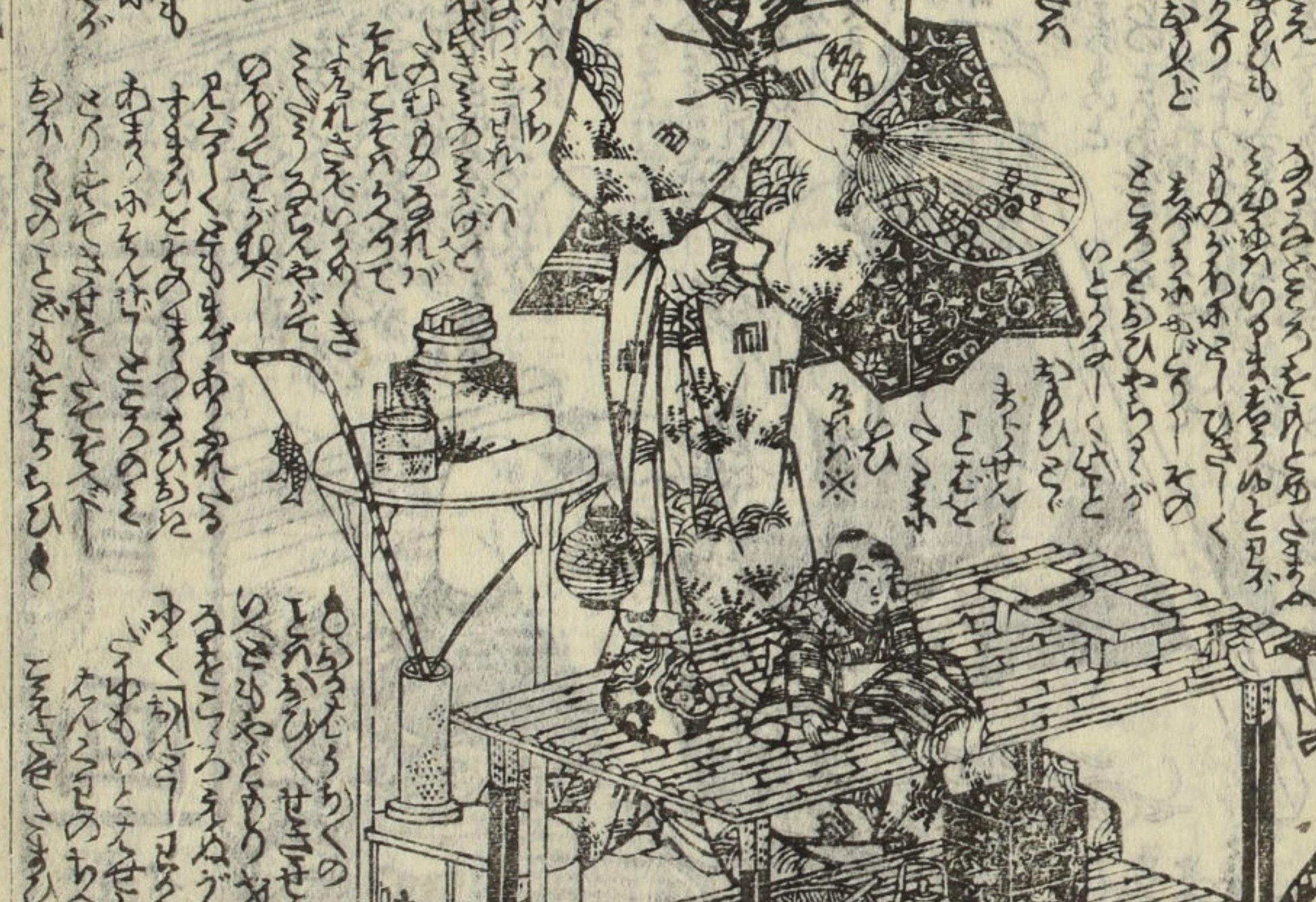


Handwritten text on the left side of the right page, surrounding the top illustration.



Handwritten text on the right side of the right page, surrounding the large illustration.

Handwritten text at the top of the left page, above the main illustration.



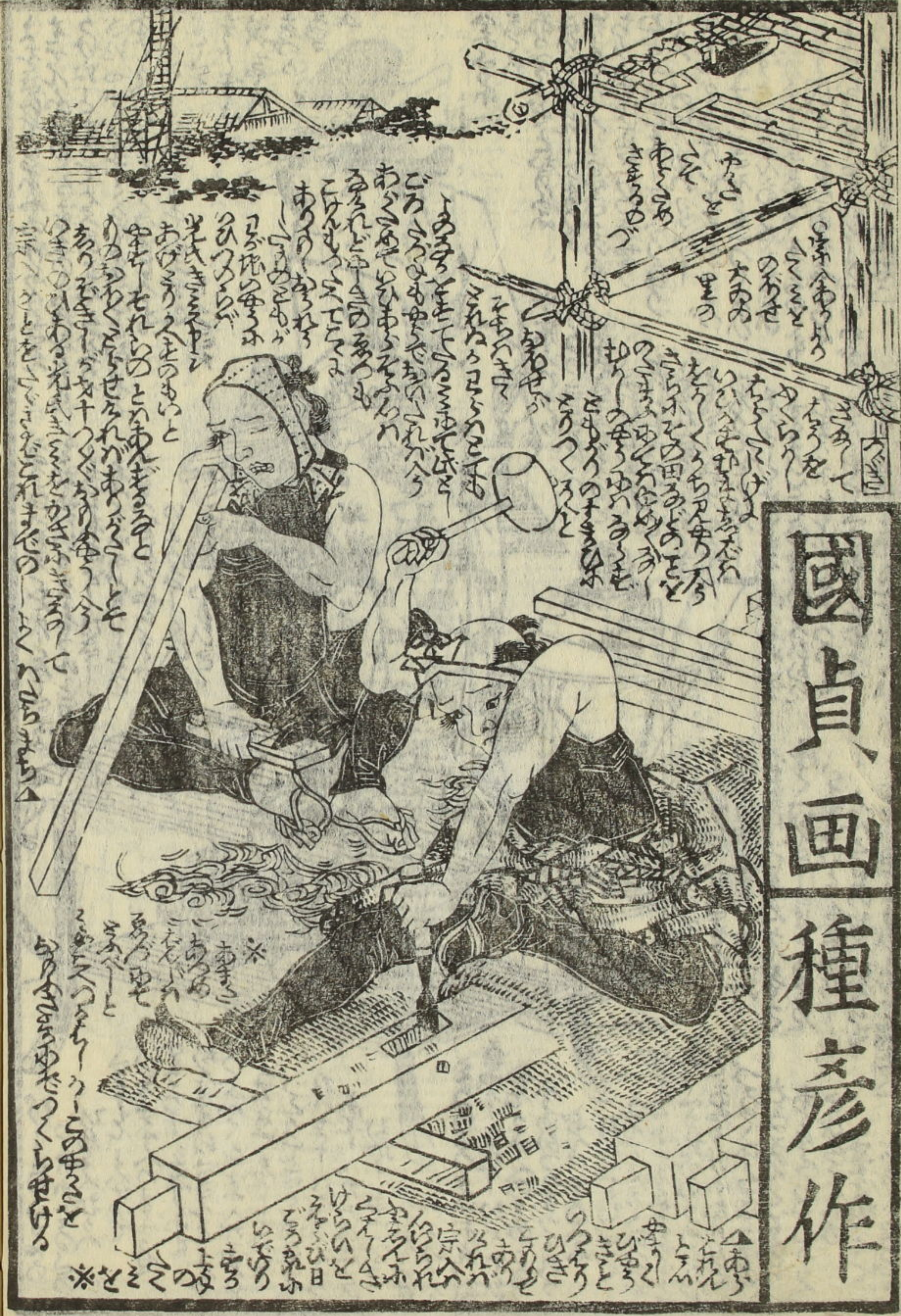
Handwritten text on the left side of the left page, surrounding the main illustration.

Vertical handwritten text on the far left edge of the left page.

Vertical handwritten text on the far left edge of the left page, near the bottom.



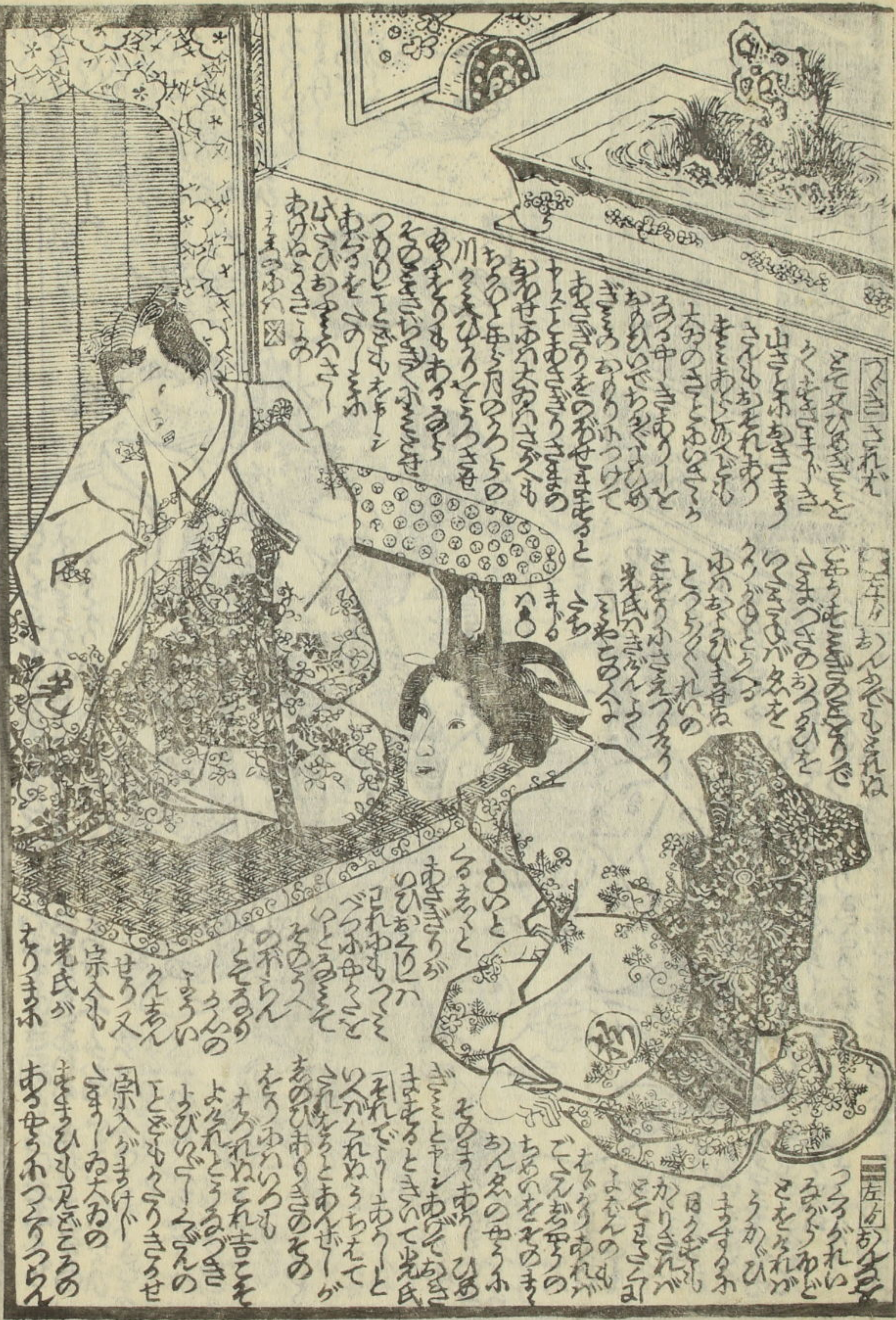
百廿七編



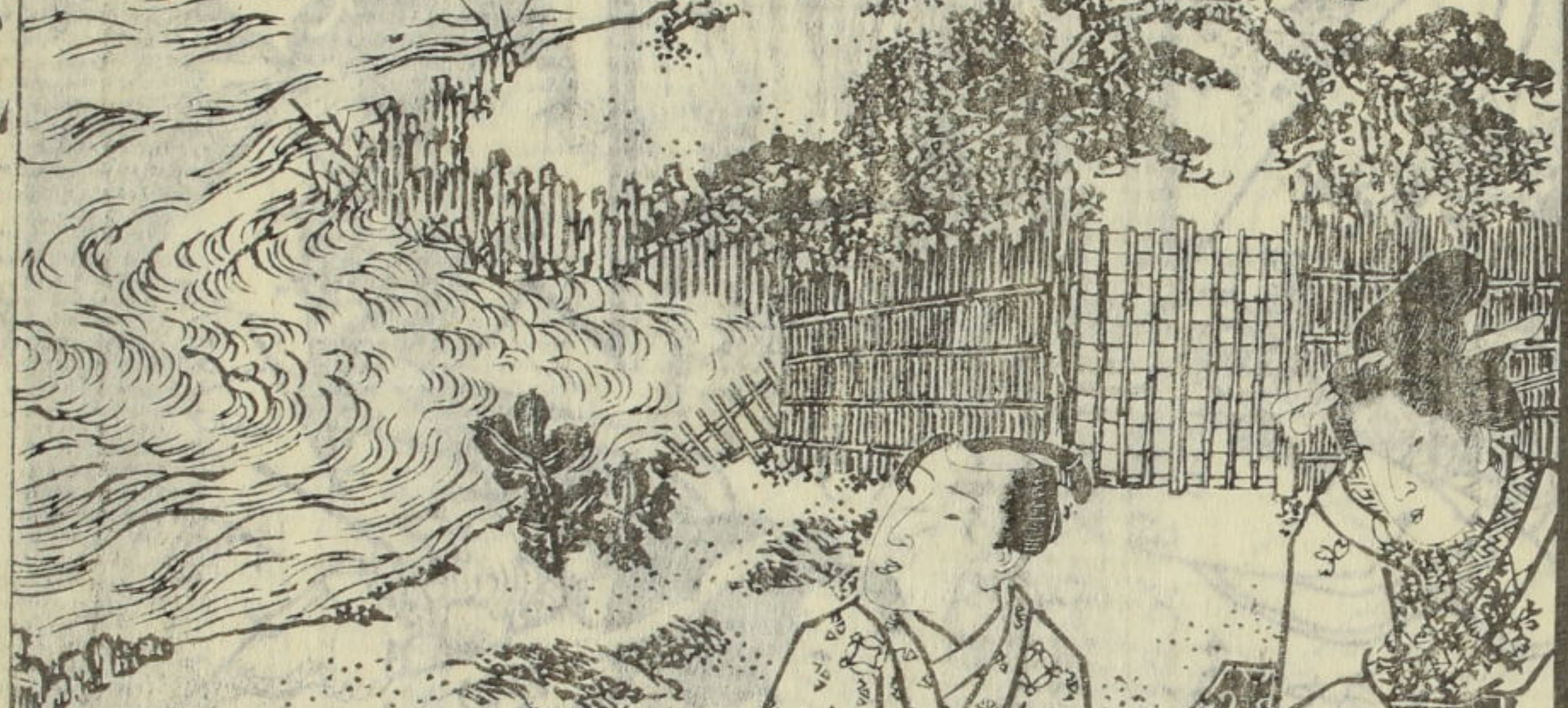
國貞画種彦作

海月廿一編

十



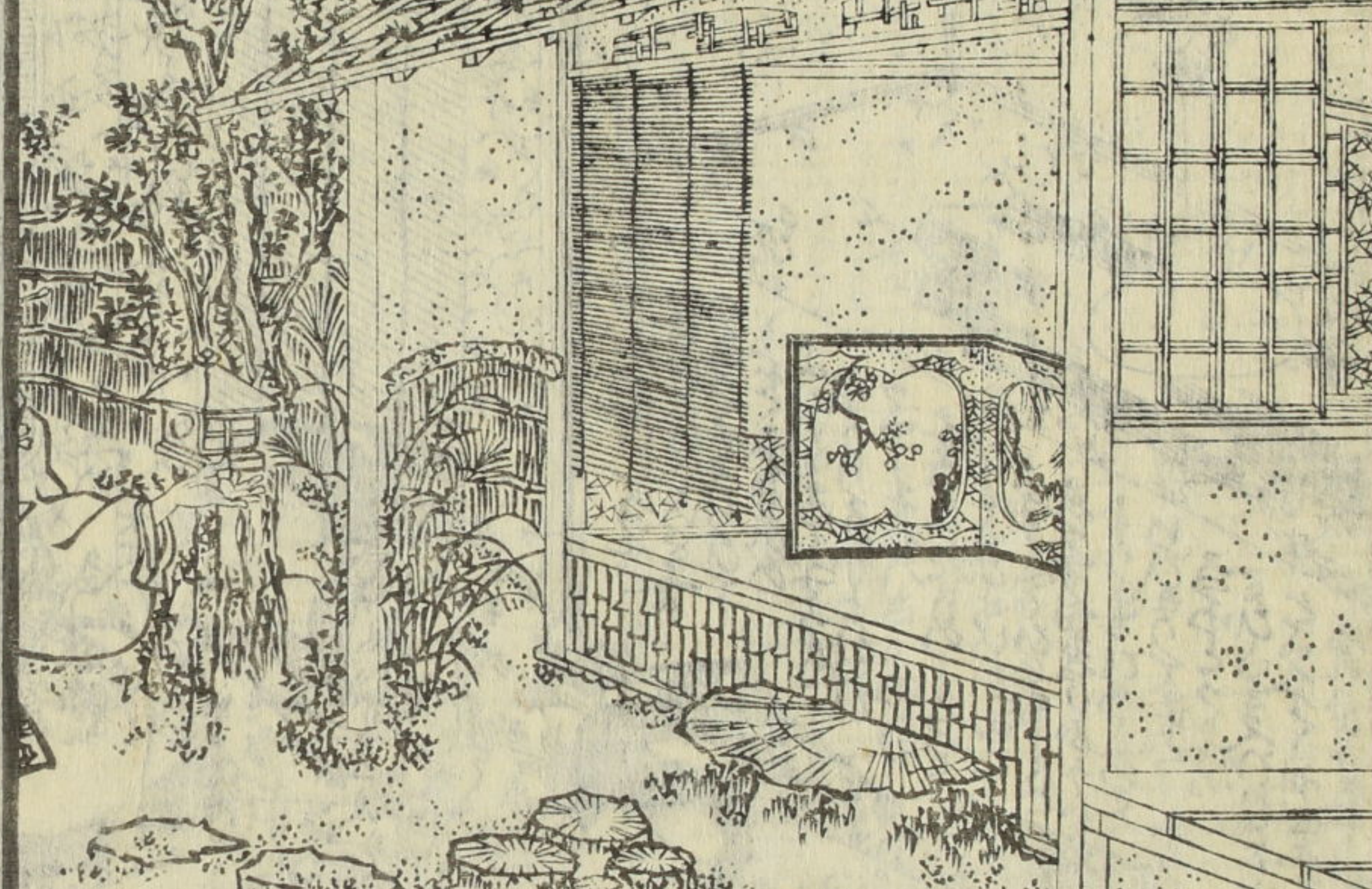
Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory notes, located at the top of the left page.



Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory notes, located at the bottom of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

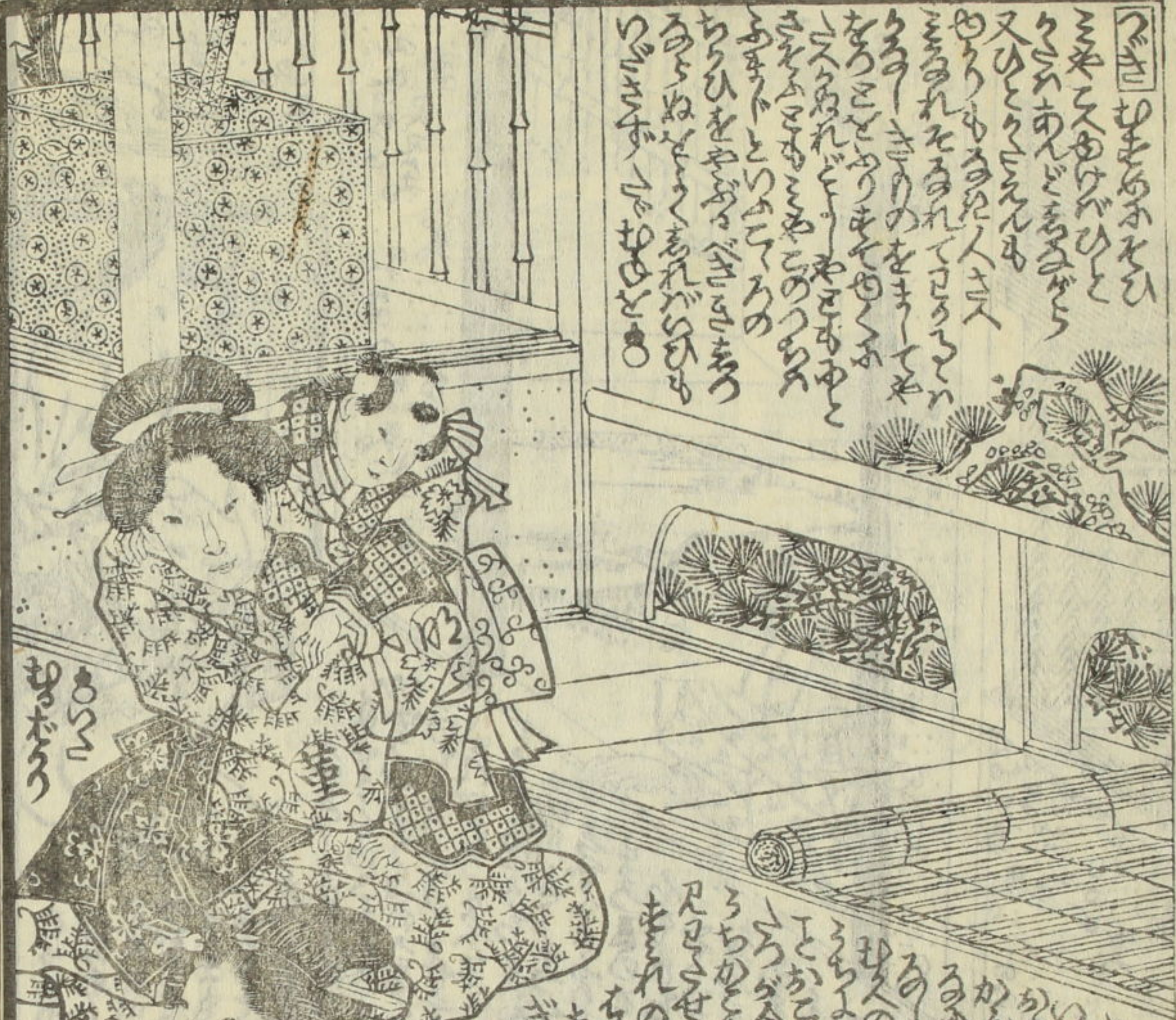
Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory notes, located at the top of the right page.



Handwritten text in a cursive script, likely a preface or introductory notes, located at the bottom of the right page.

Vertical text on the right margin of the right page.

つぎ ちまみおそひ
みゆくあゆげひと
くさあんどあさ
又ひてくさえんも
ゆりもあつた人さ
まのれをあらて
ちまみおそひの
なうこちりまを
さあつたあつた
あつたあつた
ちまみおそひ
あつたあつた
あつたあつた



あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

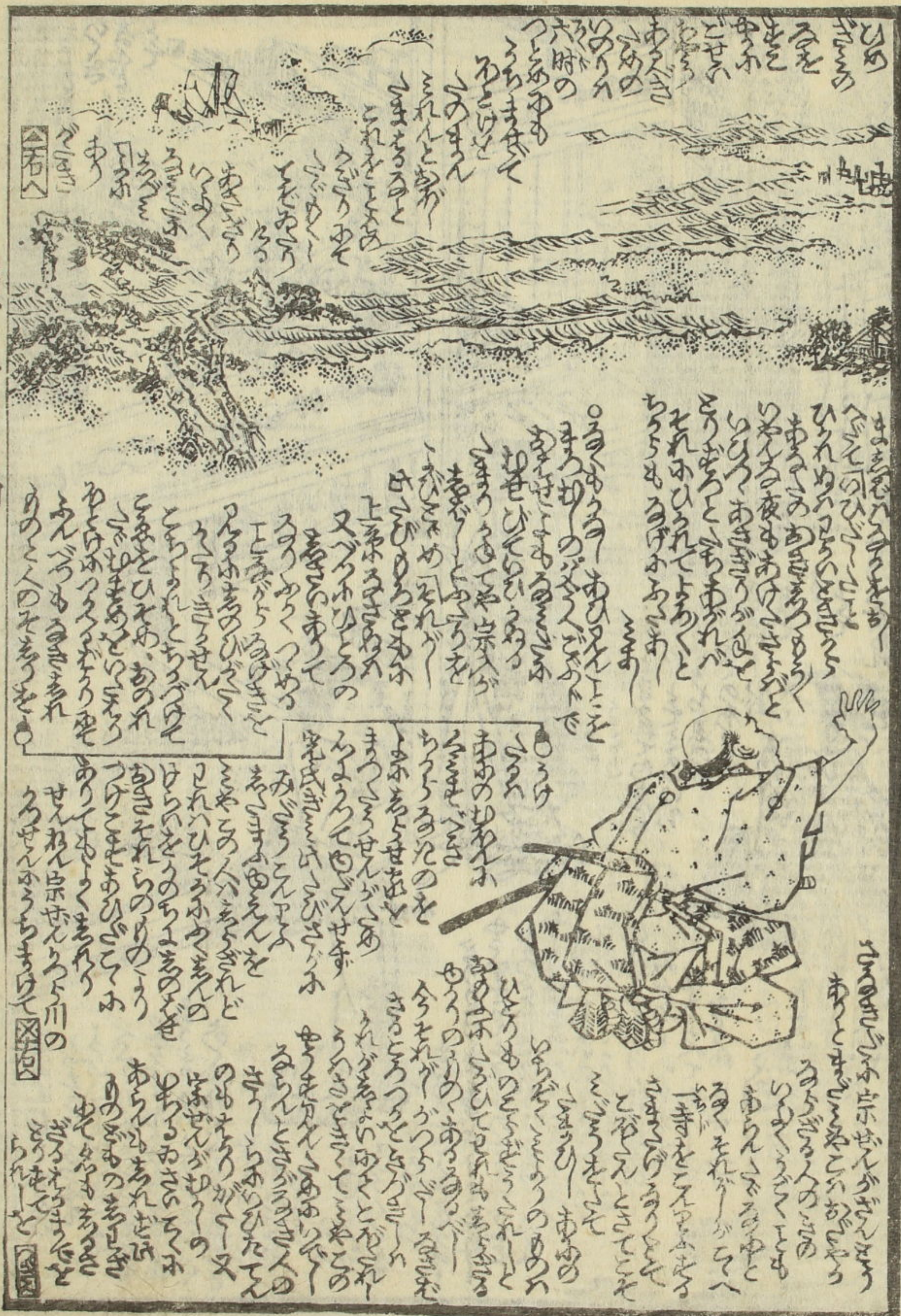


あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた



あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた

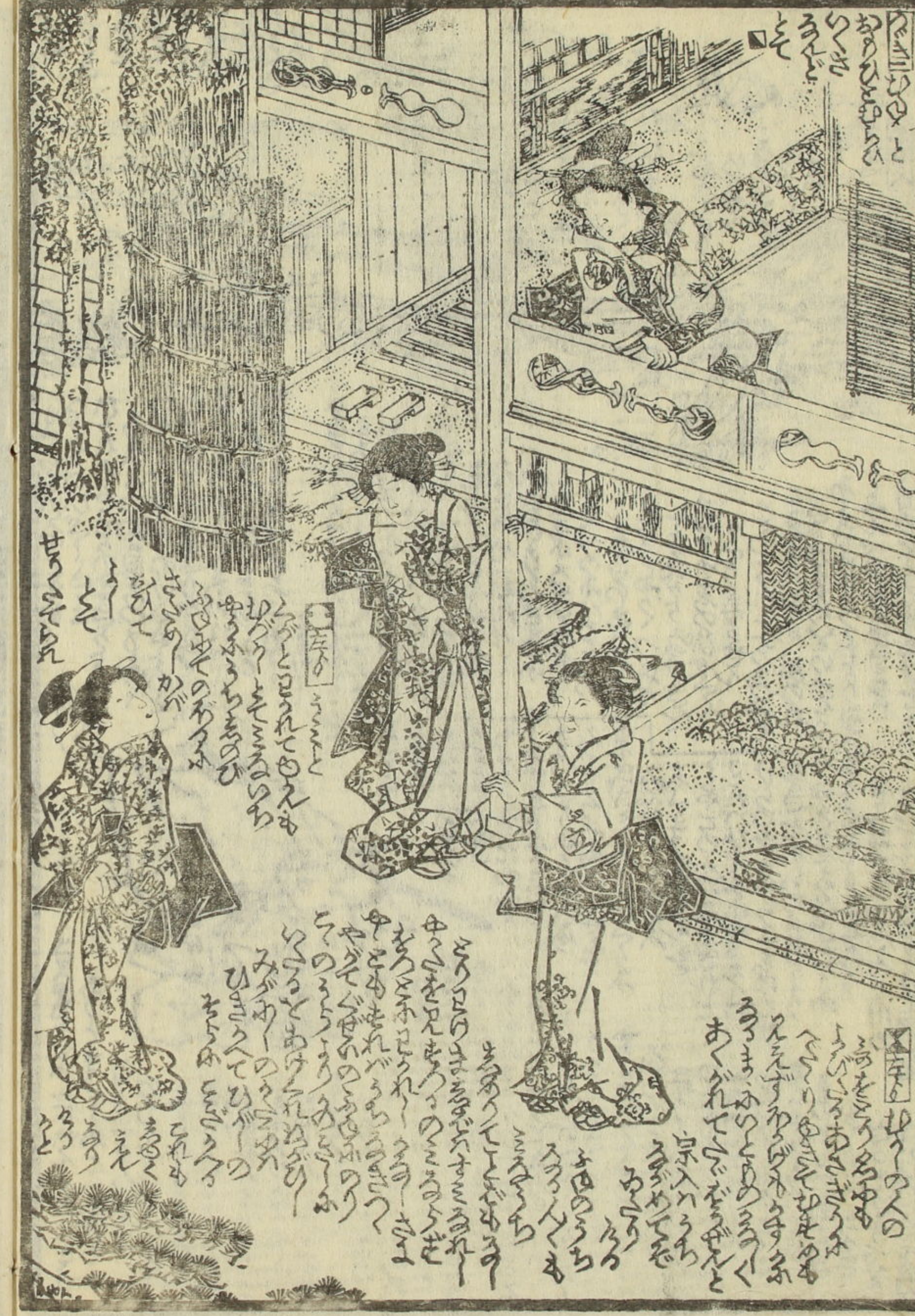
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた
あつたあつたあつた



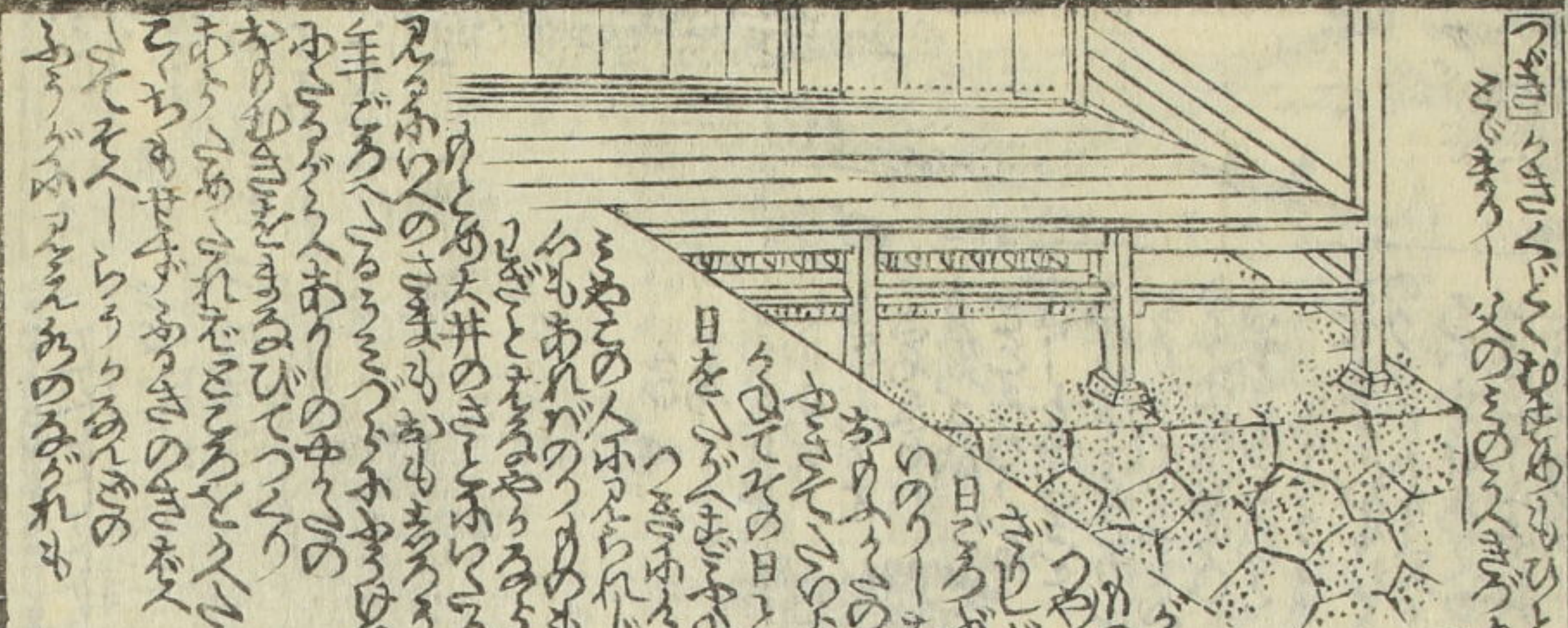
江戸大川舟



十七



源氏十六



Handwritten Japanese text in vertical columns surrounding the building illustration.



Handwritten Japanese text in vertical columns surrounding the woman illustration.

Handwritten Japanese text in vertical columns at the top of the left page.



Handwritten Japanese text in vertical columns at the bottom of the left page.

Vertical text on the left margin of the left page.

天保九年戊戌初春新彫

修紫田舎源氏

当集廿五編より二十編 主編 柳亭種彦作

佐野渡忍敵懸橋

五雲亭貞秀画

復讐言國茶話文庫

五雲亭貞秀画

金花猫婆化生舖

五雲亭貞秀画

柳亭種彦作

歌川國貞画

櫻風口花半開

五雲亭貞秀画

松花ゆき雪の藤浪

歌川貞秀画

昔大棟火の火

貞秀画

茶室のいろは

浦島太郎



浄書道友
仙女香
美奈香
右五郎
いひく
仕立
かき
かき
ま
ま
三丁目
坂本氏

美艶仙女香
黒油美奈香
南橋町
三丁目
坂本氏製



書物錦繪
團扇地紙
問屋
鶴屋喜右衛門
江戸通油町

